

令和8年2月17日

## リハビリテーション科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名 当院における新規褥瘡発生症例の経過と予防介入の遅延に関する分析

研究機関 市立札幌病院 リハビリテーション科

研究責任者 診療科名/実施責任者名 リハビリテーション科/竹嶋 優輝

研究の目的 入院時に「低リスク（BS高得点）」と判定された症例が、その後の「疼痛」による日常生活自立度（以下、自立度）の低下を契機に褥瘡を発症するケースが散見される。そのため、自立度の変化が褥瘡発生プロセスに及ぼす影響を分析し、臨床における介入の課題を明らかにすることである。

### 研究の方法

1 2024年5月～2026年1月に当院で褥瘡が発生した58症例を対象とした。

### 2 利用するカルテ情報

新規褥瘡発生者の発生要因を調査いたします。診療録より、診断名、基礎疾患、年齢、性別、身長、体重、BMI、併存疾患、入院時栄養状態（ALB、Hb、TP）、褥瘡発生日とADL低下から発症までの日数、褥瘡箇所、ブレーデンスケール（入院時、発症時）、DESIGN-R（発症時）、体圧分散用具の使用有無、疼痛（NRS）の有無、拘束の有無、リハビリ介入の有無、入院時と発症時の日常生活自立度を調査し、後方視的に検討いたします。

### 個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北11条西13丁目  
市立札幌病院リハビリテーション科